

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社ブロッサム	代表者	藤原 美里	法人・事業所の特徴	「地域の人気者」をモットーに、地域に密着した事業所を目指しつつ、利用者様、そ のご家族だけに留まらず、職員やその地域の皆様にも幸せになってもらう事を心掛けて います。
事業所名	小規模多機能 きらり東睦	管理者	草加 久美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	人	2人	2人	4人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価表を基に振り返り、情報共有、勉強会を行う。タブレット端末の導入検討	自己評価表を基に振り返りができた。来年度にタブレットを導入することが決定しました。	皆さんで話し合ってることが伝わりました。	引き続き自己評価表を基に振り返り、情報共有、勉強会を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	個々のプライバシーが保てるように、屋内の仕切りを整備する（パーテーションやカーテン）	パーテーションやカーテンを増やしてプライバシーが確保できた。	庭や畑も整備されていて、綺麗な印象がもてました。	事業所内の整理整頓を心がける。備品保管庫の整理。
C. 事業所と地域のかかわり	訪問時に一緒にゴミ捨てに行くなど具体的な行動に移す。きらりの敷地内（屋外）で行事を定期的に行い事業所から発信していく。	コロナがなかなか収まらず地域と関わる機会がなかった。	以前のようにまた交流できる状況になるといいですね。	参加可能な地域のイベントなどに積極的に参加する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナ収束時期を見計らって積極的に地域と関わっていく。きらり通信を関係各所への利用票送付時に同封する。	コロナが落ち着いたら前までのように、地域の方を交えて運営推進会議を開催したい。	出来る範囲の活動をされていた。	感染予防に努めて外出や地域との交流が再開できるようにする。

E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議での意見を反映させ、地域の行事に体調を見ながら少人数で参加する。	書面を配布して情報が共有きた。市の担当者や地域の方も増やしていきたい。	書面での報告に数字だけでなく写真や説明があったら分かりやすいと思います。	活動や運営状況を知ってもらい、地域に貢献する。
F. 事業所の防災・災害対策	防災訓練や会議を行い、災害に備え手順を周知する。	災害マニュアルの作成。備蓄品の確保。避難経路の確認。		広報活動としてホームページなどで訓練の様子などを紹介する。